

〔申告書の記入例〕

※印欄は企業の電算処理による申告をする方のみ記入してください

18 借用資産の有無について、該当する方をチェックしてください。借用資産がある場合は、貸主の名称、住所等を記入してください。

19 ~ 21

⑯資産に増減がない場合は『資産に増減なし』にチェックしてください。
⑰資産がない場合は『該当資産なし』にチェックしてください。
⑱転出・廃業・解散・その他に該当する場合はチェックのうえ該当部分を○で囲い、その年月日を記入してください。

22

- 特記事項がある場合にはその内容を記入してください。
- ・償却資産を共有されている場合は、所有者全員の氏名、住所を記入してください。
例：国分寺太郎外1名の場合
国分寺花子（国分寺市泉町2-2-18）
- ・令和7年中に移転等異動があった場合には、その旨を記入してください。

23

申告書等送付番号を記入してください（分かる場合のみ）。

- 1 提出の日付を記入してください。
 - 2 住所・氏名等に訂正・変更のある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記入してください。
 - 3 種類別明細書に従って、合計額を資産の種類別に記入してください。
 - 4 個人番号又は法人番号を記入してください。
 - 5 事業の内容を具体的に記入してください。
 - 6 個人の場合は事業を開始した年月、法人の場合は該当法人の設立年月を記入してください。
 - 7 該当する項目にチェックしてください。
4・5 ページ参照
 - 8 国分寺市内にある事業所等の資産所在地を記入してください。また、資産所在地が複数ある場合は、各々の資産所在地を記入し、主たる所在地の該当する項目をチェックしてください。